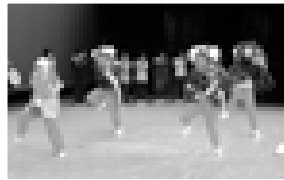


こども芸能発表会に出演・富士見小

10月25日（日）、むつ市下北文化会館において青森県教育委員会・むつ市教育委員会主催「平成21年度こども民俗芸能大会」が開催され、西北五つがる地区の民俗芸能を代表して富士見小学校（工藤志津子校長）が出演を果たし、県内各地からつめかけた大勢の観客の前で400年の伝統を誇る「富士見小学校・西中野組獅子舞」が披露されました。

この大会は、県内の各地域で民俗芸能を行っている子どもたちの団体から6団体選ばれステージで芸能が披露されるもので、今年度は「平内町東滝権現もちつき踊り保存会」、「黒石市立上十川小学校・上十川獅子保存会」、「横浜町大豆田子ども神楽会」、「東通村白糠子ども会」、「新郷村立西越小学校駒踊りクラブ」、そして富士見小学校獅子舞の皆さんの出演となりました。



リハーサルにも力が入ります



大勢の観客の前で富士見小獅子舞が披露されました



各幼稚園、保育所でハロウィンにちなんだ教室を開催

10/15 胡桃館小学校で稲刈り体験

11/6 富士見小学校でリンゴもぎ体験



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

2222冊になりました

このたび、竹浪正造さん（寺町）が書き続けている絵日記が2222冊となりました。

竹浪さんが絵日記を始めるきっかけとなったのは、昭和30年、まだ息子さんが幼少だった頃、イタズラする息子さんを、毎日絵に書いていたことが絵日記の始まりになったそうです。以来書き続けて54年、2222号となるまで、世相の風刺や町の出来事などを絵日記でつづり、現在も毎日書き続けています。次はぜひ3000冊のとき取材したいと思います。まだまだ頑張ってください。



△敬老会をつづった絵日記



△約3日～1週間で大学ノート1冊を書き上げている



△2222号の竹浪さんご自慢のページ。お孫さんたちから絵をプレゼントされた日の絵日記だそうです。

自慢のスチューベンをお届けします

10月13日（火）、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で鶴田町特産スチューベンのゆうパック出発式が行われ、600箱のスチューベンが全国の消費者へ発送されました。

出発式では津軽ぶどう村須郷貞次郎代表取締役から、「去年はひょう害で大変な年でしたが、今年は房が大ぶりで、糖度も高く、自信を持ってお届けできます」とあいさつがあり、中野町長、外崎修一郵便事業五所川原支店長が祝辞を述べた後、出発式に花を添える「ひなづる幼稚園の和太鼓演奏」が披露されました。

最後にテープカットが行われ、出席者全員の拍手でスチューベンを載せたトラックが発出して行きました。



和太鼓の披露(ひなづる幼稚園)



△局員にスチューベンを渡す園児たち

各小学校で学習発表会が開かれる

町内の各小学校で「学習発表会」が行われ、日頃練習した成果を父母や祖父母、地域の方々の前で披露しました。

10月17日（土）は梅沢小学校と富士見小学校。10月31日（土）は鶴田小学校と水元中央小学校（兼三世代交流まつり）。11月7日（土）には胡桃館小学校で行われました。学年やクラスごとに別れた演劇や演奏、また全校児童で行う合唱など、各学校で趣向を凝らしたさまざま発表が行われ、練習した成果を一目見ようと訪れた父母たちの目を楽しませていました。

なお、インフルエンザで延期になった菖蒲川小学校では、11月28日（日）に行われる予定です。



△水元中央小3学年の「防犯劇」



△鶴田小学校三味線クラブの演奏

収穫に感謝しもちつき大会・亀田

11月8日（日）、亀田新田子ふれあいセンターで、亀田幸せの種まき運動（坂本豊会長）主催の「秋の収穫感謝祭」が開催されました。

当日、亀田地区のJA女性部、男の料理研究会、亀田子ども会の皆さんが協力して、今年同地区で穫れたもち米を使った「もちつき大会」や「ビンゴ大会」が行われ、夕方からは、JA女性部の方が作ったごちそうや、男の料理研究会の方が作ったおつまみで懇親会が開かれ、秋の収穫の喜びを分かち合いました。

もちつき大会では、地区の子どもたちが杵と臼を使った本格的なもちつきに挑戦！お父さんに手伝ってもらいおいしいおもちがつき上がりました。



地区の方からもちの包み方を習う



△お父さんと一緒にもちつきを楽しむ子どもたち

お詫び：先月号「金婚式」の記事の中で、代表の謝辞を述べられたご夫妻の名前に誤りがありました。

誤：佐々木準さん→正：佐々木淳さん ご関係の皆さまにご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。